

みんなの居場所

ご卒業
おめでとう
ございます

令和5年3月22(水)

6年生へ 卒業によせて「夢に向かって未来予想図を書く」

私はこれまで6年生を担当させて頂くことが多く、特に飛び入りの6年生を担当させて頂く時は、日々の活動が「ルーティン」にならぬように、出来るだけ気持ちをリセットして新しいことに取り組むようにしていました。担任させて頂く時に必ずさせていたのが、「未来予想図」を書かせることです。「未来予想図」というとカッコよく聞こえますが、これは何かというと、「夢」を設定して、それを実現するためにどのタイミングでどんなことをすればいいのかを自分自身に考えさせることです。子供達の中には「夢」が見つかりません、決まっていませんという子も多かったのですが、最終的に「幸せな人生を送る」という未来予想は共通していましたので、そこから「逆算」して、何を成すべきなのかを考えさせました。そしてこの「未来予想図」は、分厚い文集に綴じられていきます。子供達は人生の節目節目にそれを見て、人生設計を修正したり変えたりしながら成長しているようです。これまで接してきた多くの子供達を見ていると、夢を実現した子供達にはある共通した行動のパターンがあるようです。それを箇条書きにしてみよう。

- ①「あいさつと笑顔を忘れない」
- ②「時間の使い方がうまい（工夫している）」
- ③「我慢することができる」
- ④「真摯さがあり 謙虚であり 感謝の気持ちがあること（特に、指撥や指導に対して謙虚であり感謝の気持ちで聴くことができる。）」
- ⑤「追求することに時間をいとわない」
- ⑥「結果を人のせいにならない」

挙げるときりが無いのでこれくらいにしますが、これからの3年間、非常に重要な期間を過ごします。今、長洲小学校で6年生を眺めると、少しばかり心配してしまうお子様もいます。そんな子供達へは口うるさがられても「指導」をしています。

それは子供達自分自身が描いた未来予想図を、自分自身で滅茶苦茶にしてしまうことにもなるからです。自分の言動は、将来の自分を作っていくのです。その人自身のまさに「未来予想図」を描いていることと同じなのです。それを自覚して悔いのない人生を送ってほしいものです。

卒業
おめでとう。
澤田